

竹複合樹脂材料

自動車部品向け樹脂材料として CO₂ 排出量削減に貢献

カーボンニュートラル社会を実現する上で、再生可能な素材を積極的に工業製品に応用し、CO₂ の排出量を抑えた製品のニーズが高まっている。

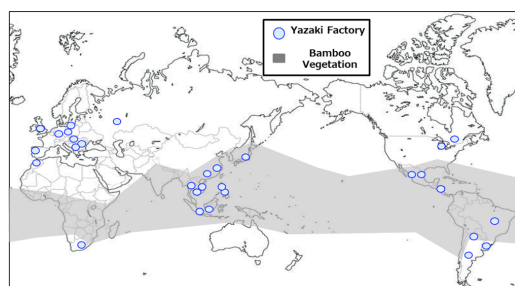


特徴

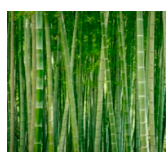
- 1 CO₂ 排出量を14%削減可能
- 2 従来の射出成形工程で製造可能
- 3 ケナフや木材などの天然素材使用時の共通課題である吸湿性を抑制し、樹脂材料の劣化を防止

主要性能 / 仕様・構造

CO₂ 削減を狙った竹複合材の製造



樹脂製品の生産工場の近くに竹が生育
(地産地消が可能)



竹材



竹粉末



PP



PP/竹ペレット



製品

(例：車載用電子部品の筐体)

PP/竹複合材の材料特性

	PP/Talc 30wt%	PP/竹 30wt%
引張強度 (MPa)	27	42.8
曲げ強度 (MPa)	42.8	68
曲げ弾性率 (MPa)	3510	3769
熱たわみ温度 (°C)	142.1	142.5
燃焼性 (UL94 試験)	V-0	V-0
Melt Flow Index	8.6	12.6

PP/竹複合材の応用例



W/Hのプロテクター



車載用電子部品の筐体



オルタネーターキャップ